

CS こひつじ科礼拝式次第

2020年8月23日 午前9時30分

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「神はご自分にかたどって人を創造された。」

創世記1章27節

2、せかいのともよ（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 使徒言行録16章16～24節

16:16 わたしたちは、祈りの場所に行く途中、占いの霊に取りつかれている女奴隷に出会った。この女は、占いをして主人たちに多くの利益を得させていた。17 彼女は、パウロやわたしたちの後ろについて来てこう叫ぶのであった。「この人たちは、いと高き神の僕で、皆さんに救いの道を宣べ伝えているのです。」18 彼女がこんなことを幾日も繰り返すので、パウロはたまりかねて振り向き、その霊に言った。「イエス・キリストの名によって命じる。この女から出て行け。」すると即座に、霊が彼女から出て行った。19 ところが、この女の主人たちは、金もうけの望みがなくなってしまったことを知り、パウロとシラスを捕らえ、役人に引き渡すために広場へ引き立てて行った。20 そして、二人を高官たちに引き渡してこう言った。「この者たちはユダヤ人で、わたしたちの町を混乱させております。21 ローマ帝国の市民であるわたしたちが受け入れることも、実行することも許されない風習を宣伝しております。」22 群衆も一緒になって二人を責め立てたので、高官たちは二人の衣服をはぎ取り、「鞭で打て」と命じた。23 そして、何度も鞭で打ってから二人を牢に投げ込み、看守に厳重に見張るように命じた。24 この命令を受けた看守は、二人をいちばん奥の牢に入れて、足には木の足枷をはめておいた。

おはなし

佐藤紀子先生

「占い？ちっぽけなものを信じないで、すべてをご存知の神様を信じよう！」

みじかい夏休みでしたが、みなさんどのようにお過ごしでしたか？

今年は夏季学校も中止になりさみしい夏でしたが、神さまからいつもとちがった夏の祝福をいただいていることと思います。

さて今日は神さまは、いつもわたしといっしょにいてくださり、すべてをごそんじであるということをお伝えしたいと思います。

このごろテレビや、雑誌で「今日の運勢」とか「金運」などの占いが取り上げられていますね。また、悪いことが続くと「お払いに行かなきゃ」なんていうのを聞いたことありませんか？

今日は「大吉」なんていわれるとうれしくなったり、赤い服を着るといいことがあります。といわれると赤い服を着たくなる人いますよね。悪いことはさけないので、目に見えることに頼りたくなることもあると思います。

でもよく考えてください。同じ誕生日の人が、みんな同じことが起こるなんておかしくないですか？ 人はこれから先のことを「こうなりますよ」といわれると、占いなんて当たらないよ。と思いつながら、よろこんだり、こわがったり、かなしんでしまうのです。それは本当の神さまを知らないからです。

神さまはなにもないところからすべてのものをつくられました。そしてすべてのものを守り、みちびき、いつも一緒にいてくださるのです。だから方角を心配しなくても、色を気にしなくても、いつも一番私にとって良いことをあたえてくださるのです。

今日の聖書箇所には、パウロさんとシラスさんが、イエスさまの伝道をしているときのことで、占いをしてお金をもらっていた女の人が、悪い霊に取りつかれてさげび続けていたので「イエス・キリストの名によって命じる。その女から出ていけ」と言うとその霊が出ていったので占いができなくなりました。お金をもらうことができなくなってしまいました。この女の人の主人はお金をもらえなくなり怒りました。パウロさんとシラスさんは、牢屋に入れられてしまいました。牢屋に入れられることはとてもかなしいことです。でも神さまは牢屋にいるパウロさんたちの働きによって、神様を信じる人を与えてくださり、すばらしいお恵みをくださいました。

神さまはいつもみなさんを愛していてくださり、いちばん良い道をくださいます。イエス様を救い主と信じているみなさんは、占いや運勢に頼らず、すべてをごぞんじの神さまを信じて歩みましょう。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 再開後にまとめておささげください

97、神様といつもいしょ (こどもさんびかをお用ください)